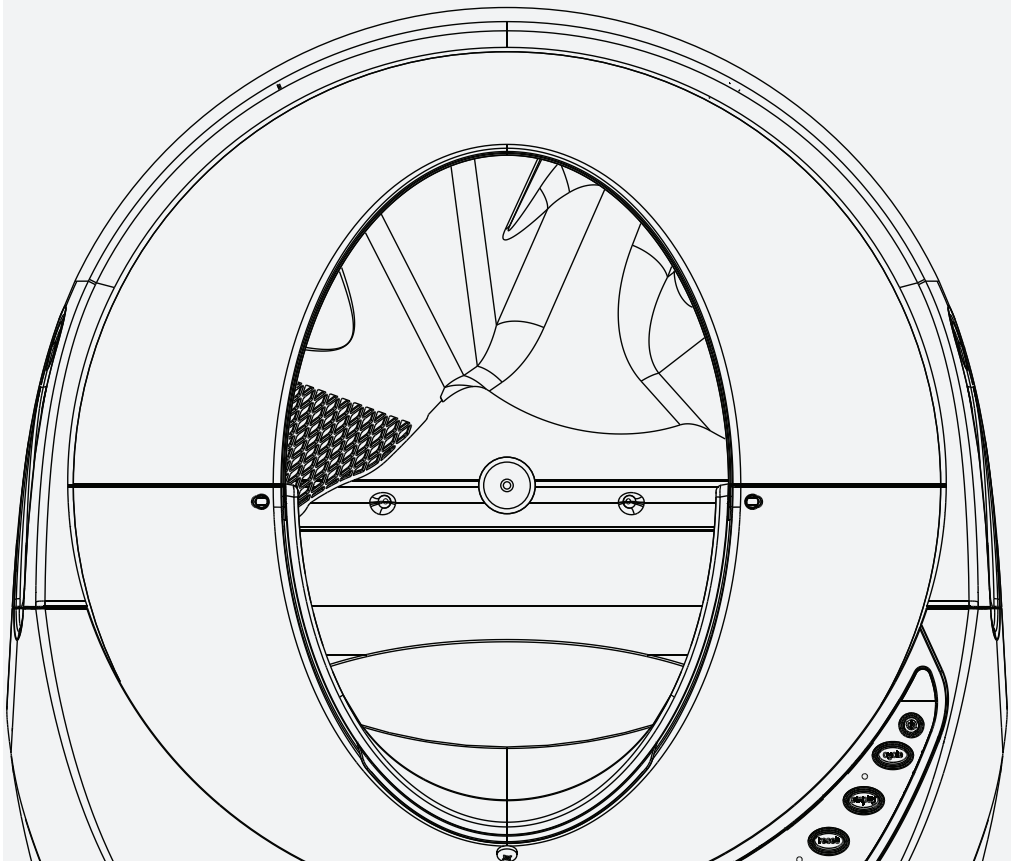


litter-robot.com

litter·robot[®] 3

取扱説明書



リッターロボットをご買い上げいただきありがとうございます!

このマニュアルは、お手元のリッターロボットを最大限に活用するのに役立ちます。準備のプロセスをご案内し、猫を新しい自動洗浄型のトイレに順応させるための有用なヒントやアドバイスをご提供します。

リッターロボットでは、お客様のペットを幸せに安全に保つ高機能で使いやすい製品の設計と製造に力が注がれています。その一方でペットの世話がもっと楽にできるようにしています。当社はおお客様のサービスに誇りを持っており、何らかの理由でご満足いただけない場合は、すぐにご返品できるようにすることをお約束します。

リッターロボットをお楽しみください、そして手間からの解放をご享受ください!



ブラッド・バクスター
代表取締役
AutoPets

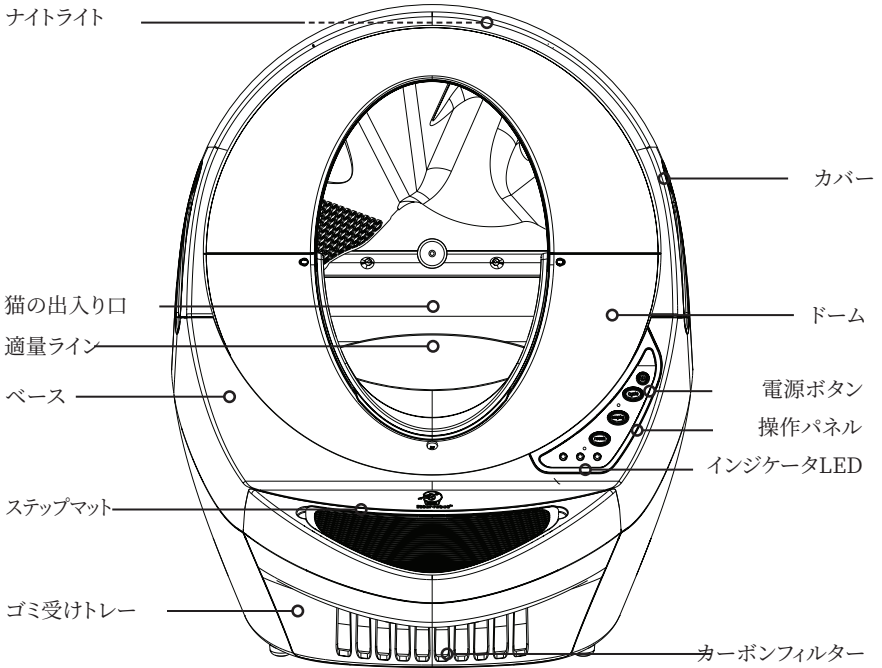
重要な安全上の注意

- **リッターロボットを使用する可能性のある飼い猫の体重は、必ず2.5kg以上であることを確認してください。**リッターロボットを自動モードで安全に使用するには、猫の体重が2.5kg以上でなければなりません。
- **常にリッターロボットを固くて平らな場所に置きます。**猫を検知する装置の能力に影響を与える可能性がある柔らかい、不均一な、または不安定な床を避けてください。
- **点検の前には必ず装置の電源プラグを抜いてください。**
- **決して猫をリッターロボットに無理に押し込まないでください。**
- **決して固まる砂以外のものは入れないでください。**
- **絶対にリッターロボットの上に座ったり、物を置いたりしないでください。**
- **絶対にリッターロボットを壁に押し付けたり、部屋の隅に押し込んだりしないでください(どの壁にも触れてはいけません)。**
- **ドームやカバーを取り除く場合、装置が回転している間に、決してドームやカバーを取り除いたり、装置に電源を入れないでください。**
- **絶対にカバーやベースを濡らしたり水に浸したりしないでください。**

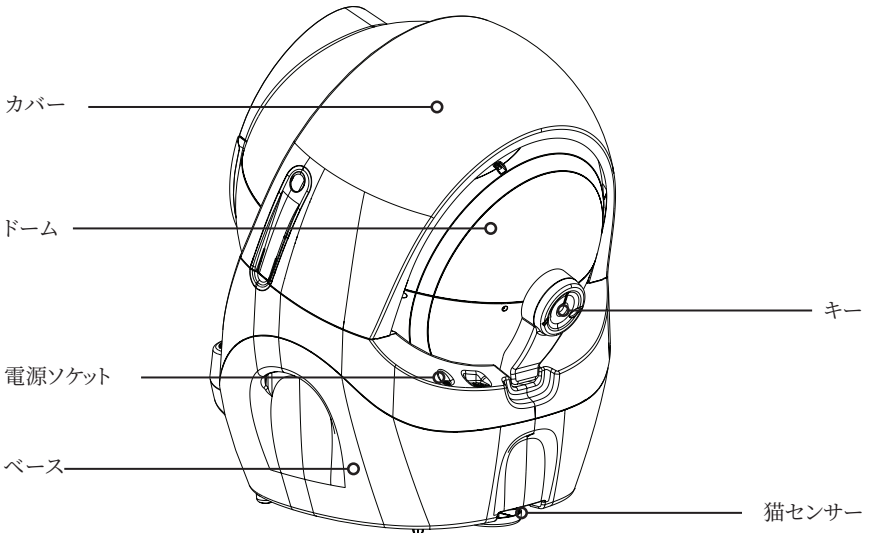
目次

重要な安全上の注意.....	3
コンポーネントと寸法.....	5
リッターロボットの準備.....	7
猫をリッターロボットに馴染ませる.....	9
継続的なメンテナンス.....	10
サイクル.....	11
操作パネル - ボタン機能.....	13
電源ボタン.....	13
サイクルボタン.....	14
エンプティボタン.....	15
リセットボタン.....	16
操作パネル - インジケータライト.....	17
猫センサー.....	19
トレイ満杯のお知らせインジケータ.....	20
自動ナイトライト.....	20
カバー.....	21
キー.....	21
ステップマット.....	22
8時間スリープモード.....	22
待機時間の設定.....	23
操作パネルのロックアウト.....	23
オプションのバックアップバッテリー.....	24
使用方法とお手入れ.....	25
安全機能.....	30
よくある質問.....	32
返金保証と製品保証.....	36
カスタマーサービスへのお問い合わせ.....	37

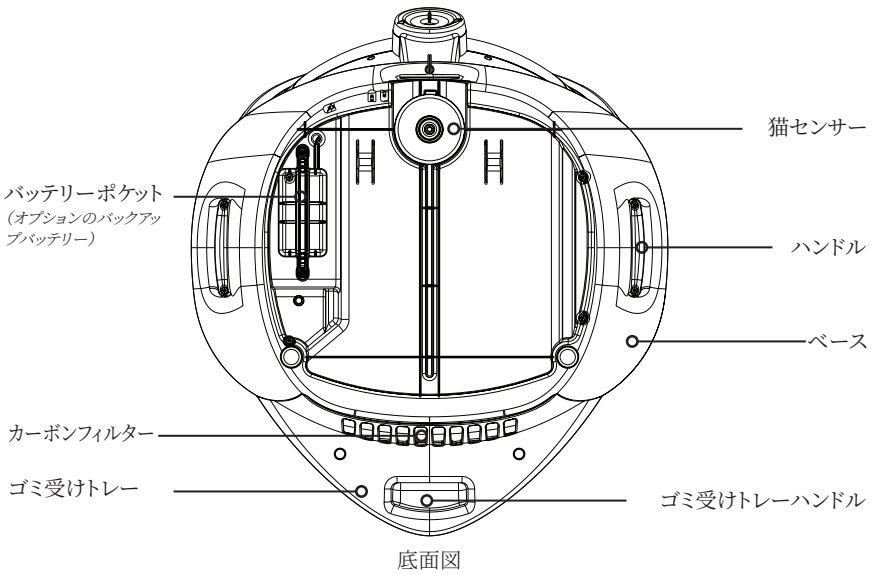
コンポーネント



正面図



背面図



寸法

	高さ	幅	x	深さ	重量	
組み立て済み	75 cm	x	61.6 cm	x	68.6 cm	10.9 kg
ゴミ受けトレイ	12.7 cm	x	31.8 cm	x	40.6 cm	
入り口	39.4 cm	x	26 cm			
ドームの内部	38.1~42.2 cm 猫砂の容量に よる	x	50.8 cm	x	50.8 cm	
排泄室			35.6 cm	x	35.6 cm	
フロアからステップまで	18 cm					
入り口までのステップ	16 cm					
入り口までのフロア	34 cm					

リッターロボットの準備

お客様のリッターロボットは組み立て済みのため、すぐにご使用できます。以下の手順で開始してください。

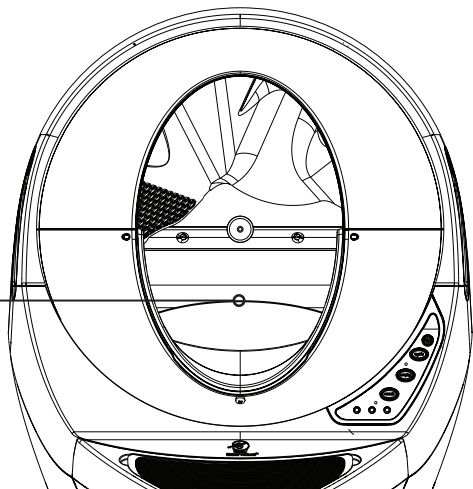
配置

- ❑ 可能であれば、リッターロボットを元のトイレと同じ場所に置きます(少なくとも移行期間中)。
- ❑ 装置が固くて平らな場所に置かれていることを確認してください。柔らかい、不均一な、または不安定な床を避けてください。
- ❑ 装置を室内の涼しく乾燥した場所に置いてください。高温・高湿にさらさないでください。
- ❑ 電源コンセントの近くに装置を置きます。装置が壁に押し付けられたり、部屋の隅に押し込まれていないことを確認してください(壁に触れてはいけません)。
- ❑ マットやラグを装置の下ではなく、すぐ前に置いてください。装置の下にマットの一部分を置かないでください。

猫砂

平らに広げたときに適量ライン(重量で約3.6~4.5kg、容量で6.6リットル)に達するよう、猫の出入り口から**固まる猫砂**を入れてドームを充たします。猫砂がドームからあふれないように注意してください。

黒いゴム製ライナーの適量ライン
まで猫砂を入れてください。



リッターロボットのシフトシステムでは、適切に機能するために**固まる猫砂**が必要です。高品質で粘土質の固まる猫砂をお勧めします。トウモロコシや小麦などの軽量の猫砂を使用すると、猫センサーを作動させるために追加の重量が必要になることがあります。清掃用の網を通過するのに十分小さい玉状の猫砂やシリカ結晶の猫砂でも機能します(このタイプの猫砂は定期的に交換する必要があります)。

吸収タイプ、固まらないタイプ、固まりにくいもの、再生新聞紙や木質ペレットの猫砂を使用しないでください。

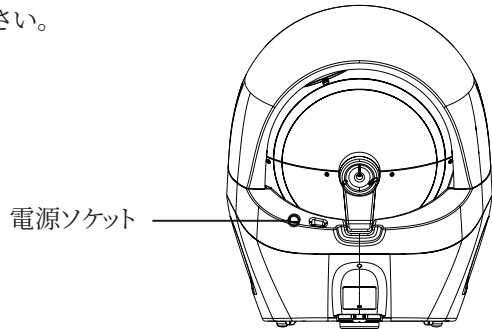
ここに記載されていない代わりの猫砂を使用している場合は、お近くの正規代理店に連絡して、互換性のある猫砂を使用していることを確認してください。

ヒント:最初にリッターロボットを充填するときは、それが固まるタイプの猫砂である限り、以前使用していた猫砂のブランドを使用し続けることが最善です。猫は新しいトイレに適応する必要があり、同時に新しい猫砂を入れると、猫の不安が増す可能性があります。しかし、現在、固まらない猫砂を使用している場合は、固まるタイプに切り替える必要があります。

電力および最初の清掃サイクル

ベースの背面にある電源ソケットに電源の小さい方の端を差し込みます。次にAC/DCアダプターをコンセントに差し込みます。

電源ボタンを見つけて押します。リッターロボットは、約2分間持続する最初の清掃サイクルを行います。清掃サイクルの詳細については、11ページを参照してください。



おめでとうございます!

お客様のリッターロボットはすぐに使用できるようになりました。しかし、猫がリッターロボットに慣れて使用を始めるまでは装置の電源を切ることをお勧めします。

猫にリッターロボットに馴染ませる

十中八九、猫はすぐにリッターロボットに慣れてくれます。うまく移行するいくつかの方法があります：

1. リッターロボットを現在のトイレと同じ場所に置き、準備します(ドームに猫砂を入れてください)。また、リッターロボットがオフになっていることを確認してください。猫に数日間、リッターロボットの様子を見させます。猫が興味を示さない場合は、マタタビや好きなおやつを使って、リッターロボットの近くに誘ってみます。
2. 元のトイレから猫砂をひとすくい加えて、猫のお馴染みの匂いをつけます。
3. 猫が装置とおやつを関連付けるように、ステップまたはリッターロボットの周りにおやつを置きます。
4. 猫は好奇心が強く、箱の中に入るのが大好きなので、元の箱に出入り口と引き出し用の穴を開けて、リッターロボットの上に置いてみてください。
5. 猫がリッターロボットを使ったことに気づいたら、装置の電源を入れて装置を循環させてください。猫が安心するよう側において、猫が近くに来るようにすると、猫は動きを観察し、リッターロボットの音に慣れることができます。処理サイクルが完了したら装置をもう一度オフにしてください(リッターロボットはホームポジションにある必要があります)。猫がリッターロボットを使用したら、元のトイレは掃除しないようにしましょう。
6. 数日たっても猫がリッターロボットを使用しない場合は、元のトイレに元のブランドの猫砂を使い続け、できるだけ長く掃除しないでください。猫はきれいなトイレを好むため、汚れたトイレを使わず、清潔なリッターロボットを使用するようになるかもしれません。また、リッターロボットの猫砂を、トイレトレーニング用に特別に考案された猫砂に交換することも検討してください。

猫がいつもリッターロボットを使うようになったら、装置の電源をオンにして、自動モードのまま作動させます。これで元のトイレはもういりません。

おめでとうございます。猫をリッターロボットにうまく馴染ませることができました。これで猫砂の掃除から解放をされます！

継続的なメンテナンス

操作パネルの青色のLEDが点滅して知らせたときは、ゴミ受けトレーを空にします。

ゴミ受けトレーをどのくらいの頻度で空にする必要があるかは、猫の数とサイズによって変わります。平均的な大きさの猫2匹の場合、週2回が一般的です。1匹の猫の場合、通常1週間に1回で十分です。

ステップの下にあるハンドルを使用してゴミ受けトレーを引き出し、ライナーの端を集めて廃棄します。

リッターロボットのカスタムフィット、生分解性のゴミ受けトレー用ライナー、または38～49リットルのゴミ袋を使用することができます。

新しいトレーのライナーを取り付けるには、袋を開けて、端を折り返してください。トレーの後ろから、袋の折り返した端を4つのタブのそれぞれに押し込み、袋をピンと張ったままにします。トレーを戻す場合は、装置を壁や部屋の隅に押し込まないように注意してください（壁に触れてはいけません）。その後、リセットボタンを押して猫センサーをリセットします。

必要に応じて猫砂を追加してください。

1週間に1回、またはゴミ受けトレーを空にするたびに猫砂の量を確認してください。ドーム内の適量ラインを満たすのに十分な猫砂を加え、入れ過ぎないように注意してください。猫砂の追加や除去の後に、リセットボタンを押して猫センサーをリセットします。

リセットボタンを押します。

装置の重量や配置に影響を与えるたびに（ゴミ受けトレーを空にする、猫砂の追加や除去、装置の清掃や移動など）、リセットボタンを押して、猫センサーが猫を検知して正しく作動するようにします。

25ページの使用方法とお手入れを参照して、カーボンフィルター、ベースシールストリップ、ゴミ受けトレーのシート、そしてリッターロボットの清掃方法について学んでください。

清掃サイクル

猫がドームを離れると、リッターロボットは自動的に清掃サイクルを開始します。特許取得済みのふるい分けシステムは、きれいな猫砂から排泄物を分離し、それらを下のゴミ受けトレイに入れます。約2分かかります。また、サイクルボタンを押して清掃サイクルを開始することもできます。

清掃サイクル中に処理サイクルを一時停止するには、いずれかのボタンを押します。処理サイクルを再開するには、サイクルボタンを押します。処理サイクルを中止し、ドームをホームポジションに戻すには、リセットボタンまたはエンプティボタンを押します。

仕組み:

ドームがホームポジションにあり、操作パネルの青いLEDが点灯しているときは、リッターロボットは使用可能です。

1. 猫がドームに入ると、猫センサーが作動します。青色のLEDが消灯し、赤色のLEDが点灯します。
2. 猫がドームを出ると、清掃サイクルへのカウントダウンが始まります。待機時間(23ページを参照)が経過すると、清掃サイクルが始まり、赤色のLEDが消灯して、黄色のLEDが点灯します。
3. ドームは反時計回りに回転します。処理サイクル中は黄色のLEDが点灯します。
4. 回転中に、黒色ゴムドームライナーの後ろの重りがライナーをドームから離して、付着した排泄物を確実に除去します。
5. 網が猫砂を通して、きれいな猫砂から排泄物を分離します。きれいな猫砂は、網の後ろの部分に集められます。
6. ドームが排出ポジションまで回転すると、排泄物が廃棄口を通してゴミ受けトレイに落ちます。
7. ドームは時計回りにホームポジションに向かって回転します。ドームライナーが元の位置に戻り、きれいな猫砂が排泄室に戻されます。
8. ドームは、最終的にホームポジションに戻る前に、猫砂を水平にするためにホームポジションを越えて回転します。黄色のランプが消灯し、青色のスタンバイランプが点灯します。

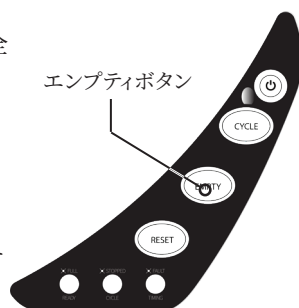
猫が待機時間のカウントダウン中にドームに再び入ると（赤色のLEDが点灯）、猫センサーがその重量を検出しますが、猫を中に入れたまま作動することはありません（30ページを参照）。猫が出ると、新しいカウントダウンが始まります。

エンプティサイクル

エンプティサイクルでは、ドームからゴミ受けトレーに猫砂をすべて落として、廃棄しやすくします。排泄室全体を交換するためや、ドームをクリーニングする前にこのサイクルを使用します（27ページ参照）。

エンプティボタンを押すと、エンプティサイクルが開始されます。

エンプティサイクル中に処理サイクルを一時停止するには、いずれかのボタンを押します。処理サイクルを再開するには、サイクルボタンを押します。処理サイクルを中止し、ドームをホームポジションに戻すには、リセットボタンまたはエンプティボタンを押します。



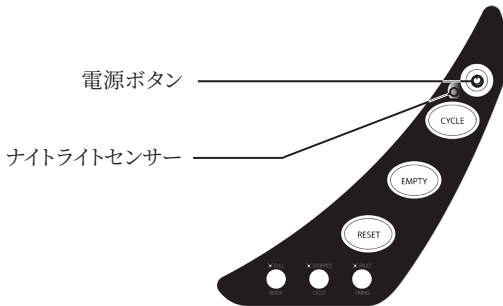
仕組み:

1. ドームは時計回りに回転します。操作パネルの黄色のLEDが、処理サイクル中に点灯します。
2. ドームが回転すると、猫砂が廃棄口を通過してゴミ受けトレーに落ちます。
3. 猫砂が空になったら、ドームは黄色のLEDが点灯した状態で停止し、お客様の行動を待ちます。（廃棄口に残った猫砂をブラシで取り除く必要があるかもしれません。）
4. いずれかのボタンを押して、ドームをホームポジションに戻します。

重要:装置は猫砂がないと猫を検知できないため、エンプティサイクル中は、目を光らせて猫が入らないようにします。

操作パネル - ボタン機能

電源ボタン + [自動ナイトライト]



押してすぐ離す: システムの電源をオン/オフします。

長押し: 自動ナイトライト機能をオンとオフに切り替えます(20ページを参照してください)。

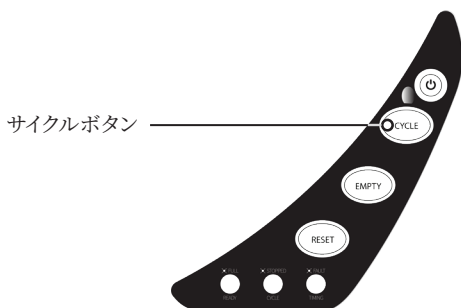
リッターロボットでは、自動ナイトライトが有効になっています。ライトセンサーが暗い状態を検出すると、ナイトライトが自動的にオンになります。

ナイトライトが点灯しているかどうかを確認するには、ライトセンサー(操作パネルのサイクルボタンの上にあります)を覆ってナイトライト機能の状態をチェックします。

ナイトライト機能をオフにするには、電源ボタンを約5秒間長押しします。ナイトライトは点滅してから消灯します。

ナイトライト機能をオンにするには、電源ボタンを約5秒間長押しします。ナイトライトが点滅します。また、周囲の光に応じて、ナイトライトは点灯し続けるか(暗い場合)消灯します(明るい場合)。

サイクルボタン+ [8時間スリープモード]



押してすぐ離す: 清掃サイクルを開始します。(11ページを参照してください)

処理サイクルを一時停止するには、操作パネルのいずれかのボタンを押します。サイクルを押して処理サイクルを再開します。

清掃サイクルを中止するには、いずれかのボタンを押して処理サイクルを一時停止し、エンプティまたはリセットを押してドームをホームポジションに戻します。

長押し: 8時間スリープモード(22ページを参照)を有効にします。

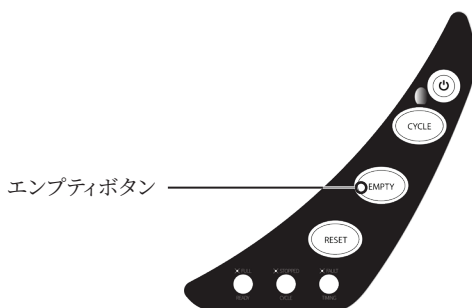
スリープモードでは、青色のスタンバイLEDに加えて黄色のLEDが点灯します。猫センサーは、次の8時間が無効になり、サイクルボタンを押した場合のみ装置が作動します。

8時間経過した後すぐに、装置は清掃サイクルを開始し、次に青色のLEDが点灯してホームポジションに戻ります。猫センサーが再度有効になります。

一度設定されると、8時間スリープモードは24時間ごとに繰り返されます。期間の開始は、モードが最初に設定されたときに決定されます。

このモードを終了するには、黄色のLEDが消えるまでサイクルボタンを長押しするか、青いLEDのみがオンになっている(8時間のスリープモード時間内でない)場合は、黄色のLEDが点滅して、このモードが終了したことを示します。

エンプティボタン + [待機時間の設定]



押してすぐ離す:エンプティサイクル(12ページ参照)を開始します。ドームからゴミ受けトレイに猫砂をすべて落として、廃棄しやすくします。エンプティサイクル中、ドームは時計回りに回転し、黄色のLEDが点灯した状態で停止し、お客様の行動を待ちます。いずれかのボタンを押して、ドームをホームポジションに戻します。

エンプティサイクルを一時停止するには、いずれかのボタンを押します。サイクルを押してエンプティサイクルを再開するか、エンプティまたはリセットを押してサイクルを中止し、ドームをホームポジションに戻します。

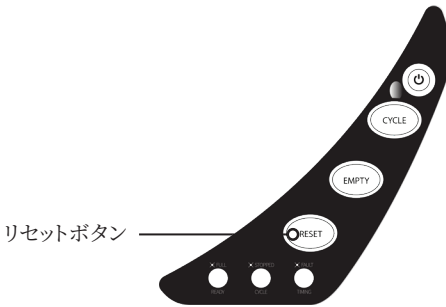
重要:装置は猫砂がないと猫を検知できないため、エンプティサイクル中は、目を光らせて猫が入らないようにします。

長押し:待機時間設定モードに入ります(23ページ参照)。ライトの1つが点滅を開始し、現在の待機時間設定を示します。リセットボタンを使用して、次の設定に切り替えます。青色は3分、黄色は7分、赤色は15分です。エンプティボタンを長押しして設定を保存します。青色のLEDが点滅して確認し、スタンバイ状態に戻ります。

待機時間は、猫がドームを出てから装置が清掃サイクルを実行するまでの時間です。

待機時間を短縮することは、排泄物の臭い、犬のような他のペットが排泄物に触れる機会を最小限に抑えるために役に立ちます。ただし、猫砂が固まるのに十分な時間を取れない場合、待機時間を短縮すると、クリーニングの有効性が低下する可能性があります。固まるまでに時間がかかる低品質の固まる猫砂を使用する場合は、待機時間を延長してください。

リセットボタン+ [操作パネルのロックアウト]



押してすぐ離す：

ドームがホームポジションにあつて青色LEDが点灯している間に押すと、猫センサーがリセットされます。

処理サイクル中に押すと、サイクルが一時停止します。一時停止中にもう一度押すと、処理サイクルが中止されます。

赤色のLEDが点灯しているときに押すと、待機時間がキャンセルされ、スタンバイ状態(青色のLEDが点灯)に戻ります。

重要:猫砂の追加や除去、ゴミ受けトレイを空にすること、装置の移動やクリーニングなど、装置の重量や配置に影響を与えることをするときは、いつでもリセットボタンを押してください。リセットボタンは、猫センサーを自動的に調整し、リッターロボットが猫を検知して正しく作動するようにします。

長押し:操作パネルのロックアウト(23ページ参照)を有効にします。青色のLEDが瞬時に点滅します。

操作パネルのロックアウトモードで、リセットボタンを長押しすると、青色のLEDが瞬時に点滅して、モードが終了します。

この設定では、操作パネルのすべてのボタン機能が無効になり、装置は自動モードで正常に機能します。操作パネルのロックアウト中は、電源ボタンを3秒間押し続けることで装置をオフにすることができます。

操作パネル - インジケータライト

青色LED点灯:正常 / スタンバイ

装置は正常で、猫が使える準備ができています。

青色LED点滅:ゴミ受けトレイが一杯です

ゴミ受けトレイが一杯になっています(20ページを参照)。ゴミを取り除き、新しいライナーを取り付け、リセットを押して点滅するLEDを取り消し、猫センサーを調整します。

青色と黄色LEDの点灯:スリープモード

リッターロボットは8時間スリープモードになります(22ページ参照)。

黄色LED点灯:処理サイクル中/使用中

リッターロボットは処理サイクル中です(清掃またはエンプティサイクル)。

黄色LEDの点滅:サイクルの中断

ゆっくり(約1秒に1回)点滅する黄色LEDは、サイクルが以下のいずれかにより中断されたことを示します。

- 処理サイクル中に、猫がドームに入ったために**猫センサー**が有効になった場合は、装置が停止し、黄色のLEDが点滅します。猫がドームを離れた後、装置は15秒後に再びサイクルを開始します。
- 循環中またはドームがホームポジションにある間に**カバー**が取り除かれる場合、(その前に処理サイクルを行っていると)装置は停止し、黄色のLEDが点滅します。カバーが交換されてから5秒後、装置は以前の機能を再開します(28-29ページを参照)。

速く(毎秒約4回)点滅する黄色のLEDは、**挟み込み防止安全機能**(30ページを参照)によって中断された処理サイクルを示します。循環中に、潜在的な挟み込み状態が検出された場合、ドームは2秒間停止し逆方向になります。黄色のLEDがすぐに点滅を開始し、お客様の行動を待ちます。詰まりが無くなったら、いずれかのボタンを押してドームをホームポジションに戻します。

赤色LED:猫センサーの作動と待機時間のカウントダウン

猫センサーは猫がドームに入ると起動します。猫が出ると、清掃サイクルへの待機時間のカウントダウンが始まります(23ページを参照)。リセットを押すとタイマー(赤色のLED)を解除できます。

赤いライトの点滅:キャットセンサーの故障

キャットセンサーは猫、あるいは装置内の過大なウェイトによって30分間以上も継続してされています。

過大なトイレ砂やごみなどのウェイトを確認してください。終わったら、キャットセンサーをリセットするにはリセットボタンを押すか、装置をオフにしてからまた付けてください。

黄色→赤いライトが順番に点滅:

モータの時計回りの回転の際、障害物またはジャムを検知しました。装置をオフにしてボンネットとグローブを外してください。ギア/モータの障害物をチェックします。装置を組み立て直して、適切なトイレ砂のレベルを確認してください。装置をオンにして、サイクルを開始します。問題が継続する場合、カスタマーサービスまでご連絡ください。

青色→黄色→赤色のLEDが順番に点滅:

排出ポジションが見つかりません。

装置は自動モードで引き続き機能します。カスタマーサービスにご連絡ください。

赤色→黄色→青色のLEDが順番に点滅:

ホームポジションを見つけることができません。

装置は自動モードで引き続き機能します。カスタマーサービスにご連絡ください。

青色-黄色-赤色のLEDが同時に点滅:

ホームポジションまたは排出ポジションを見つけることができません。

装置は作動しません。カスタマーサービスにご連絡ください。

青色→赤色のライトが順番に点滅:

モーターの反時計回りの回転の際、障害物またはジャムを検知しました。装置をオフにしてボンネットとグローブを外してください。ギア/モーターの障害物をチェックします。装置を組み立て直して、適切なトイレ砂のレベルを確認してください。装置をオンにして、サイクルを開始します。問題が継続する場合、カスタマーサービスまでご連絡ください。

猫センサー

猫センサーは、猫がドームに出入りするときに検知する重量感知スイッチです。

猫センサーが始動するには、猫の体重が2.5 kg以上が必要です。2.5kg未満の子猫に、無人の状態でも自動モードのリッターロボットを使用しないでください。トウモロコシや小麦などの軽量の猫砂を使用すると、猫センサーを作動させるために追加の重量が必要になることがあります。よくある質問を参照してください：
子猫もリッターロボットを使えますか？(32ページ)

猫センサーが猫を正確に検知するためには、リッターロボットを固くて平らな床に置かなければなりません。柔らかい、不均一な、または不安定な表面は避けてください。

リッターロボットは、猫がドームの中にいるときや、清掃サイクルが始まることを知るのに、猫センサーに頼っています。仕組みは以下の通りです：

- 装置に電源が入り、各サイクルが終了するたびに、猫センサーがベースラインとして使用する装置の重量を測定します。
- 猫がドームに入ると、猫のセンサーは重さの増加を検知し、ドームが回転しないようにします。猫が出ると、猫センサーは重さの減少を検知し、清掃サイクルへのカウントダウンを開始します。
- そのカウントダウン中に猫センサーが作動した場合、猫がドームを離れると新しいカウントダウンが開始され、猫が中に入ったまま回転しないようにします。
- 最終的に(設定に応じて、3分、7分、または15分後)、清掃サイクルが開始され、終了すると、猫センサーは新しいベースラインとして使用するためにもう一度重量を測定します。

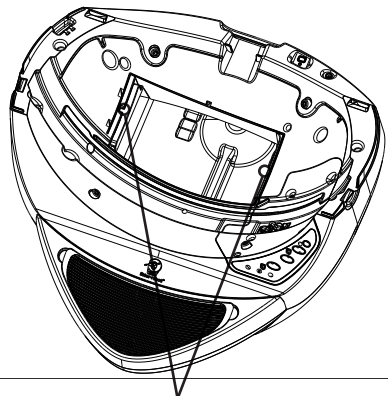
注意: ステップまたはステップマットに適用されたウェイトはキャットセンサーを転ばすことなく、グローブの回転を止めることもありません。これは意図された仕様であり、それは猫にグローブの回転を止めて入って来て欲しくないためです。しかしもし猫が入って来た場合、反時計回りに回転した際、または時計回りに回転時、3秒間方向を停止反転した際、グローブは停止します。

猫センサーの精度と信頼性を確保するために、ゴミ受けトレーを空にしたり、ドームから猫砂を追加したり除去したり、装置を清掃したり移動したりするなど、装置の重量に影響を与える変更を行う前には電源を切っておきます。完了したら、装置の電源を入れ直してください。リッターロボットは最初の清掃サイクルを実行し、猫センサーは装置の重量の新しい測定値を取得します。

リセットボタンは、装置の重量に影響を与える何かを行った後に猫センサーをリセットする別の方法です。リセットボタンをしっかりと素早く押してから、青色のLEDが点滅するのを見て、猫センサーをリセットしたことを確認します。ボタンを押すときに装置に乗らないように注意してください。重量が測定値に影響する場合があります。

トレー満杯のお知らせインジケータ

リッターロボットには赤外線エミッターとセンサーが装備されています。このセンサーは、ドームがホームポジションに戻るたびにトレーが満杯になっているかどうかをチェックします。お知らせインジケータが有効になると、操作パネルに青色のLEDの点滅が表示されます。お知らせインジケータが最初に起動すると、青色のLEDが点滅し、猫センサーは有効なままになります。お知らせインジケータを3回起動(2回以上の清掃サイクル後)すると、猫センサーが無効になり、装置は自動的に再起動しなくなります。トレーを確認するか、空にした後で、リセットを押すことでお知らせインジケータをキャンセルし、猫センサーをリセットできます。



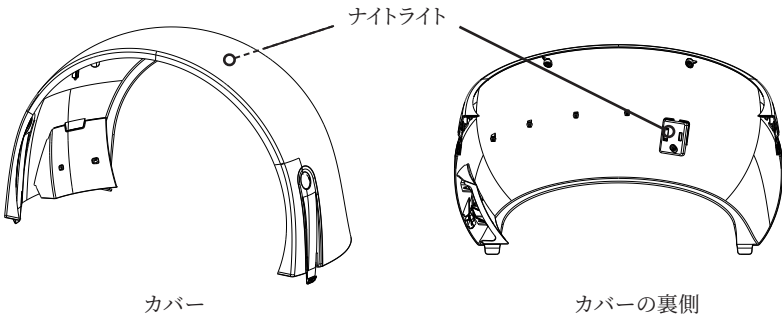
トレーの満杯お知らせインジケータ

自動ナイトライト

猫は一般的に優れた視力を持っていますが、加齢や病気によって暗い状態で見る能力が低下する可能性があります。カバー上部にある自動ナイトライトは、猫をトイレに導くのに役立ちます。サイクルボタンの上にあるライトセンサーは、ナイトライトを自動的にオン/オフします。電源ボタンを長押しして、ナイトライト機能をオン/オフします(13ページ「操作パネル - ボタン機能電源ボタン」を参照)。

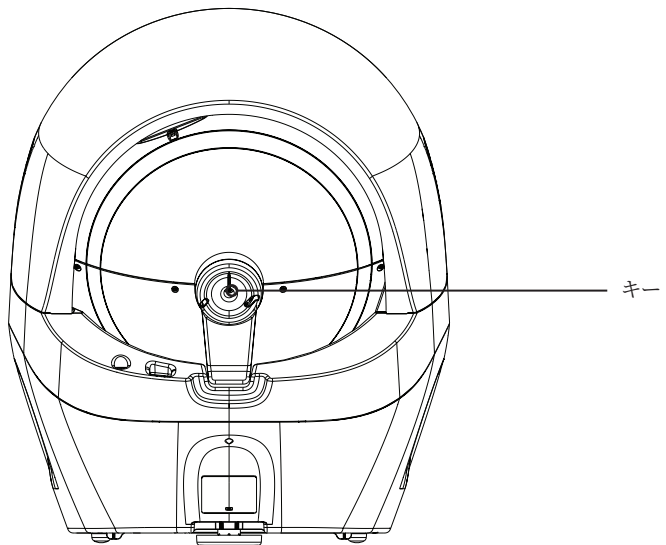
カバー

カバーは、ドームが回転するときに廃棄口の保護やガードとして機能します。カバーには、ナイトライト、電線、電気端子が付いており、ナイトライトに低電圧で安全な5VDCを供給しています。ドームは、カバーが取り付けられていない状態では回転しません(17ページ「操作パネル-インジケータライト→黄色のLEDの点滅」を参照)。組み立ての手順については、28～29ページを参照してください。



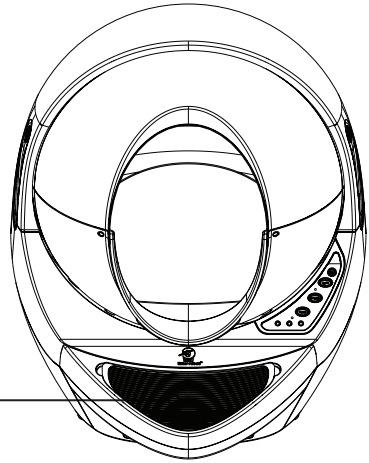
キー

キーはドームの裏側にあります。キーをベースのポケットにスはめ込んで位置決めします。



ステップマット

ステップマットは、猫の出入り口に柔らかい掴み面を提供して猫砂取りとして機能し、ゴミの後始末を減らします。柔軟で着脱可能なステップマットは、取り外してからドームの内側で逆さまにして折り曲げるだけでゴミを取り除くことができます。



8時間スリープモード

このモードでは、猫センサーを8時間停止させ、装置が自動的に作動しないようにします。スリープモードは、8時間の間作動させたくない寝室や場所に装置が設置されている場合に役立ちます。

24時間ごとに8時間を繰り返します。開始は、モードが最初に設定される時間によって決定されます。

希望時間にスリープモードに入るには、(青色のスタンバイLEDに加えて)黄色のLEDが点灯するまで、サイクルボタンを長押しします。次の8時間に黄色と青色の両方のLEDが点灯し、装置が8時間スリープモードになっていることを示します。

8時間が経過すると、装置は清掃サイクルを始めます。ドームがホームポジションに戻ると、青色のLEDだけが点灯します。8時間のスリープモードが自動的に再開すると、黄色と青色の両方のLEDが再び点灯します。

スリープモードを終了するには、黄色のLEDが消灯するまでサイクルボタンを長押しします。なお、8時間のスリープモード時間内にないために青色のLEDのみが点灯している場合は、黄色のLEDが点滅してこのモードを終了したことを示します。

待機時間の設定

待機時間は、猫がドームを出てから装置が清掃サイクルを開始するまでの経過時間です。3分、7分、または15分に設定できます。デフォルトの待機時間は7分です。

排泄物の臭い、犬のような他のペットが排泄物に触れる機会を最小限に抑えることが重要な場合は、待機時間を短縮してください。ただし、猫砂が固まるのに十分な時間を取れない場合、待機時間を短縮すると、クリーニングの有効性が低下する可能性があります。固まるまでに時間がかかる低品質の固まる猫砂を使用する場合は、待機時間を延長してください。

エンプティボタンを約5秒間長押しすると、待機時間設定モードになります。ライトの1つが点滅を開始し、現在の待機時間設定を示します。リセットボタンを使用して、次の設定に切り替えます。青色は3分、黄色は7分、赤色は15分です。エンプティボタンを長押しして設定を保存します。青色のLEDが点滅して確認し、スタンバイ状態に戻ります。

操作パネルのロックアウト

操作パネルのロックアウトは、不要な変更を防ぐためにボタン機能を無効にします。リッターロボットは通常、操作パネルのロックアウト時に自動モードで機能しません。

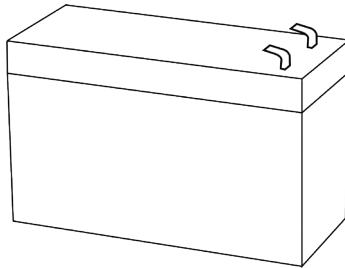
リセットボタンを約5秒間長押しして、操作パネルのロックアウトを開始または終了します。ステータスを確認するために、青色のLEDが点滅します。

操作パネルのロックアウト中に、電源ボタンを3秒間長押しすると、装置の電源を切ることができます。

オプションのバックアップバッテリー

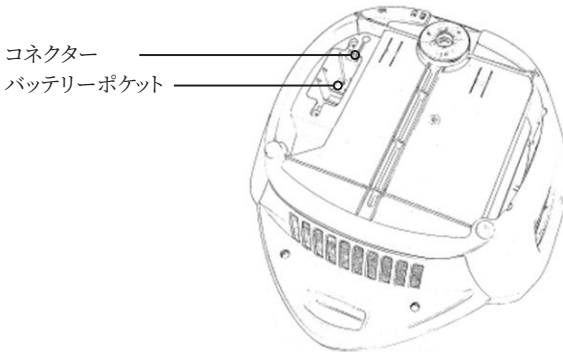
リッターロボットには、オプションのバックアップバッテリーが付いています。密閉型12VDCを使用すると、1.3アンペア時のバッテリーにより、装置は停電中も引き続き動作することができます。リッターロボットの電源が遮断されると、装置はバッテリーバックアップ電源に自動的に切り替わり、電源ボタンのバックライトが黄色に点灯します。

注意: ナイトライト機能は、省エネのためにバッテリーバックアップモード中は無効になります。



12VDC、1.3アンペア時バッテリー

バッテリーポケットとコネクターは、ベースの底面にあります。



ベースの裏側

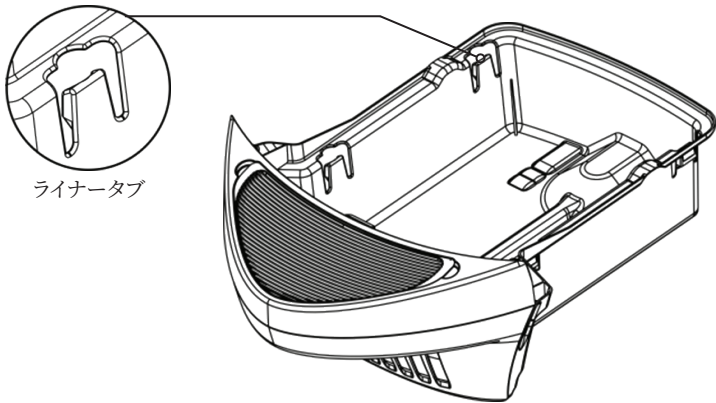
バックアップバッテリーキットには、バッテリー、ブラケット、ネジが含まれており、お近くの正規代理店から注文できます。

使用方法とお手入れ

ゴミ受けトレイライナーの取り付け

リッターロボットには、ゴミ受けトレイライナーが取り付けられています。この生分解性ライナーは、リッターロボット専用に作られています。38～49リットルのごみ袋も使用できます。

1. 新しいライナーまたは袋を開きます。
2. 端を折り返します。
3. 後ろから袋の端を4つのライナータブのそれぞれに押し込み、袋をピンと張ったままにします。



カーボンフィルター

リッターロボットには、トレイ内の悪臭を吸収する柔軟なカーボンフィルターパッドが取り付けられています。簡単に取り外して取り付けられますので、必要に応じてカーボンフィルターを交換してください。通常の使用では、1枚のフィルターで数ヶ月間効果が持続します。カーボンフィルターは、装置が機能するためには必要ありません。

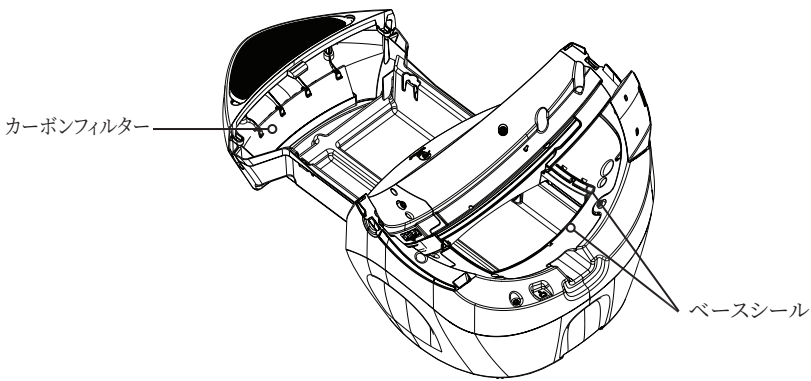
交換用カーボンフィルター(3回分)は、お近くの正規販売店に注文することができます。

ベースシールストリップ

リッターロボットには、ゴミ受けトレイやベース内の臭気の封じ込めに役立つブラシ型のシールストリップが付いています。

シールストリップがすり減ったり、剥がれていることに気がいたら、交換してください。交換の間に緩んだ端を整えて、長く持つようにします。ベースを掃除するときに濡らさないように注意してください。剥がれが起きることがあります。

交換用ベースシールストリップは、お近くの正規販売店に注文することができます。



リッターロボットを空にする

1. エンプティボタンを押してドームを時計回りに回すと、猫砂が廃棄口からゴミ受けトレイに落ちて廃棄しやすくなります。
2. 猫砂がドームに残っている場合は、猫砂を廃棄口に向けてブラシで取り除きます。
3. いずれかのボタンを押して、ドームをホームポジションに戻します。

重要: 装置は猫砂がないと猫を検知できないため、エンプティサイクル中は、目を光らせて猫が入らないようにします。

ドームのクリーニング

1. エンプティボタンを押してドームを時計回りに回すと、猫砂が廃棄口からゴミ受けトレイに落ちて廃棄しやすくなります。残りの猫砂を廃棄口に向けてブラシで取り除きます。次に、いずれかのボタンを押してドームをホームポジションに戻します。すべての猫砂がドームから取り除かれていることを確認してください。濡れた猫砂は粘土状になってこびりつきます！
2. リッターロボットをオフにして、装置のプラグを抜きます。
3. カバーを取り外す:カバーの両側にあるスナップタブを押してすぐ離し、ドームからカバーを持ち上げて回転させ慎重に外します。
4. ドームを取り外す:両手でドームをベースから持ち上げます。
5. 水と刺激の少ない石鹼でドームを洗浄してください。ドームには、石鹼や水によって損傷を受ける電子部品はありません。ドームの汚れがひどい場合は、水に浸けたり、ホースや高圧洗浄機で洗うこともできます。
6. ベースに戻してカバーを取り付ける前に、ドームを完全に乾燥させてください(28～29ページを参照)。

簡単なお手入れの場合は、(猫砂を除去することなく)使い捨てのウェットティッシュを使ってドームの内側と上半分を拭いてください。ほとんど瞬時に乾きますので、リッターロボットはすぐに使用できます。

ゴミ受けトレイのクリーニング

1. トレイを引き出します。
2. カーボンフィルターを取り外します。
3. 引き出しを石鹼と水で洗ってください。
4. カーボンフィルターが乾いていることを確認してから、取り付け直してください。

ベースのクリーニング

- 水をかけたり水に浸したりしないでください。ベースには、猫センサーなどの電子機器があります。
- ベースの表面を消毒剤で湿らせた布で拭きます。スプレーを使用する場合は、ベースから離れて布や紙タオルに直接スプレーして、消毒液が電子機器に入らないようにしてください。
- 漂白剤は使用しないでください。

ドームとカバーの再取り付け

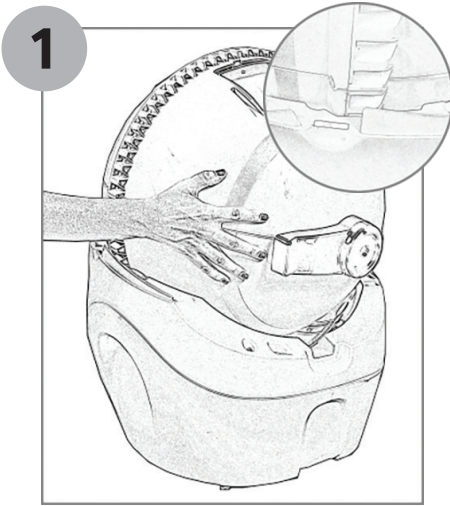
次のページの図を参照してください。

1. ドームのギザギザの歯をベースの溝に合わせ、だいたいホームポジション（底面の開口部の黒いへり）になるように、ドームをベースの上に置きます。

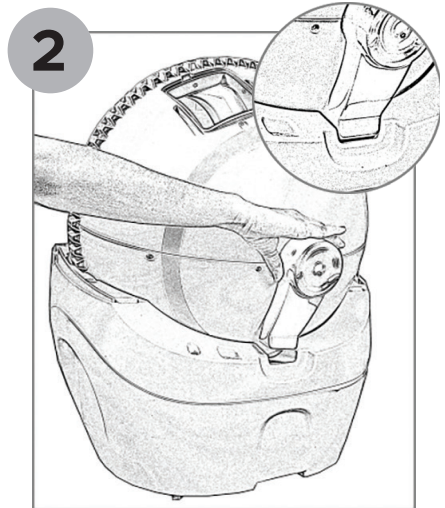
注意:ドームの回転軸は床に対して20度の角度をつけられているため、ドームはベースにわずかに傾いて取り付けられています。

2. ドーム背面の黒いキーを回転させ、ベースのポケットに入れます。
3. カバーの底面後部のタブを見つめます。タブをベースのスロットに合わせて挿入します。
4. カバーがドームを包むように、側面を軽く押さえてカバーを下方方向に回転させます。これで、カバースナップをベースのスロットと適切に合わせることができます。カバースナップがスロットに入ったら、カバーを上から押して、カバースナップが所定の位置にはまり、カバーが固定されていることを確認します。

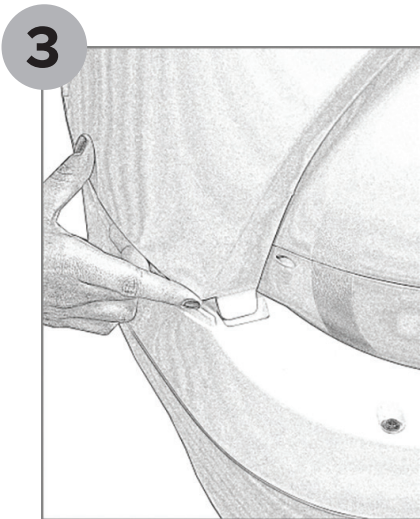
注意:装置は、カバーが取り付けられていないと動作しません。



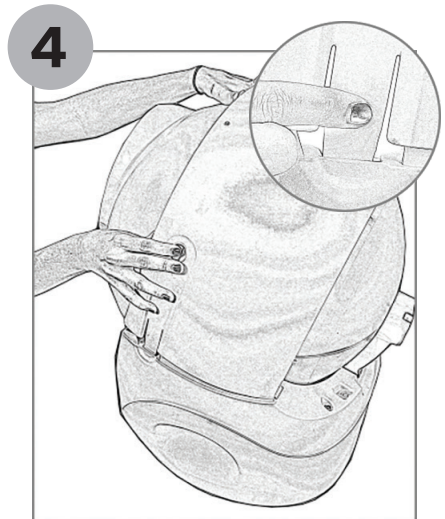
カバーを取り外した状態で、ドームのギザギザの歯をベースの溝に合わせます。



キーを回転させてベースのポケットに入れます。



カバーの両側で回転させ、背面のタブをベースのスロットにはめ込みます。



カバーを下方向に回転させ、タブをベース内の対応するスロットに合わせます。カバーをベースにしっかりと固定します。

安全機能

カバー

カバーは、ドームが回転するときには廃棄口の保護やガードとして機能します。また、カバーには、ナイトライト、配線、電気端子が付いており、ナイトライトに低電圧で安全な5VDCを供給しています。ドームは、カバーが取り付けられていない状態では回転しません(17ページ「操作パネル - インジケータライト黄色のLEDが点滅」を参照)。

キャットリエントリープロテクション

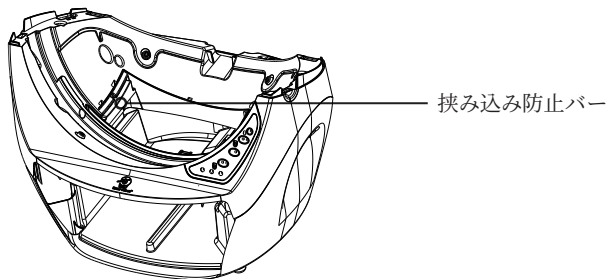
キャットセンサーがサイクル中トイレ砂ロボットに入ろうとする猫を検知した場合、反時計回りに回転時グローブは停止するか、時計回りに回転時、5秒間にわたって停止または逆に回転します。サイクルの再開を試みる前に、それは15秒間待ちます。

注意:ステップまたはステップマットに適用されたウェイトはキャットセンサーを転ばすことはなく、グローブの回転を停めることもありません。これは意図された仕様であり、それは猫にグローブの回転を停めて入って欲しくないためです。キャットセンサーがサイクル中トイレ砂ロボットに入ろうとする猫を検知した場合、反時計回りに回転時グローブは停止するか、時計回りに回転時、5秒間にわたって停止または逆に回転します。

挟み込み防止安全機能

リッターロボットには、猫に特別な安全性を提供する挟み込み防止安全機能が備わっています。

循環中に、潜在的な挟み込み状態が検出された場合、ドームは2秒間停止し逆方向になります。黄色のLEDがすぐに点滅し始め(毎秒約4回)、お客様の行動を待ちます。詰まりが無くなったら、いずれかのボタンを押してドームをホームポジションに戻します。



オーバーロードプロテクション

反回転した際グローブが詰まったまたはオーバーロードした場合、モータは停止しグローブはホームポジションに戻ります。コントロールパネルは青に、その後赤に点滅します。

時計回りに回転時、グローブが詰まるかオーバーロードした場合、グローブは停止するか、5秒間にわたって停止、逆回転します。装置は15秒後に再び回転を始め、ホームポジションに戻ろうと試みます。三試行後にグローブがホームポジションに戻れない場合グローブは停止し、コントロールパネルは黄色に、そして赤に点滅します。

詰まりまたはオーバーロード状態の後、グローブがホームポジションに戻れない場合、コントロールパネルは対応エラーメッセージを表示します。装置は依然として自動モードで機能します。

コントロールパネルが詰まりまたはオーバーロードエラーを表示した場合、装置をオフにしてボンネットとグローブを外してください。ギア/モータの障害物を確認してください。装置を組み立て直して適切なトイレ砂のレベルを確認してください。装置をオンにしてサイクルを開始します。問題が継続する場合、カスタマーサービスまでご連絡ください。

よくある質問

私の猫は実際にドームの中に入りますか？

猫は一般的に好奇心が強く、新しい物に興味を示します。フード付きトイレを既に使っている猫なら、すぐに近づいてくるかもしれません。

リッターロボットを元のトイレと同じ場所に置くことをお勧めします。元のトイレも短時間リッターロボットの近くに置いておいてかまいません。元の猫トイレから猫砂を1カップほどリッターロボットのきれいな猫砂に加えます。慣れた匂いであれば、猫は近づこうとします。

猫が中に足を入れさえすれば、足の下猫砂を感じ、何をすべきかがわかるでしょう。

子猫もリッターロボットを使えますか？

無人の状態、子猫や体重が2.5kg以下の猫に自動モードでリッターロボットを使用することはお勧めできません。重量が軽いと、猫センサーが作動しないことがあります。自動モードでリッターロボットを使用するには、猫の体重は2.5kg以上必要です。

リッターロボットをオフにして、「半自動」モードで操作することをお勧めします。猫がリッターロボットを使用したのを知ったときに電源をオンにすると、リッターロボットは自動的に清掃サイクルを始めます。完了したら(約2.5分)、電源をオフにします。この方法であれば、子猫は安全であり、小さい頃にリッターロボットに慣れ親しむことになり、トイレから猫砂をすくう必要もありません！

注意:すべての飼い猫が猫センサーを起動するのに十分重くなっていることを確認するまで、リッターロボットをオフのままにして、清掃サイクルを手動で開始してください。

猫がリッターロボットを使わない場合はどうしたらいいですか？

お客様や猫ちゃんにどうしてもご満足いただけない場合は、お近くの正規販売店が指定した返品期間内にリッターロボットをご返却ください。ご購入価格の全額を返金させていただきます。返品時の送料はお客様の負担となりますのでご注意ください。カスタマーサービスに、返品承認(RMA)番号をお問い合わせください。RMA番号のない返品は受付できません。

ドームが回転中に猫が中に入ろうとした場合はどうなりますか？

猫がドームに入ると猫センサーがそれを検知し、モーターが停止します。猫がドームを離れると、リッターロボットは15秒待ってから処理サイクルを再開します。30ページの「猫の再入室を防ぐ」を参照してください。

ドーム内に尖ったものやワイヤーなどがありますか？

いいえ、ドームには、猫を傷つけたり、傷つける可能性のある尖ったものやワイヤーなどはありません。リッターロボットは猫の安全を配慮して設計されています。

猫にとって、電子機器や電源は危険ではありませんか？

いいえ、ドーム内には電気部品はありません。リッターロボットは、家庭で時計付きラジオや携帯電話を充電するのに使われるのと非常によく似たアダプターを使い、安全な15V DCで動作します。

ドームの中に猫がいる場合に回ることがありますか？

いいえ、猫が中にいる間は、ドームは回りません。猫がドームに入ったり戻ったりするたびに、猫のセンサーが作動し、カウントダウンタイマーがリセットされ、清掃サイクルがさらに7分間開始されなくなります。

グローブが詰まった場合どうなるのか？

グローブが詰まったまたは過負荷状態が発生した場合、装置は(当社の)オーバーロード保護を使用してその状態を検知します(31ページを参照のこと)。加えて、トイレ砂ロボットはアンチピンチの安全機能が装備されています(30ページを参照のこと)

リッターロボットには特別な猫砂が必要ですか？

いいえ、リッターロボットは単に固まる猫砂を必要とします。高品質で粘土質の固まる猫砂を使用することをお勧めします。トウモロコシや小麦などの軽量の猫砂を使用すると、猫センサーを作動させるために追加の重量が必要になることがあります。シリカゲルのビーズや結晶の猫砂も、網を通過する限り、リッターロボットと一緒に使用することができます。

リッターロボットで機能しない猫砂は、吸収タイプ、固まらないタイプ、固まりにくいもの、再生新聞紙や吸収性の木質ペレットの猫砂です。

リッターロボットはパインサンドで機能しますか？

いいえ、パインサンドは大きすぎてふるい分けの網を通り抜けません。そのため、猫砂ふるい分けシステムが正しく機能しません。また、パインサンドは、ふるい分けの網をうまく通過するにはふわふわし過ぎています。

リッターロボットにどのくらいの量の猫砂を入れればいいですか？

平らに広げたときにドームの黒いゴムライナー上の適量ラインに達するまで、約3.6~4.5kgの猫砂を入れてドームを充たします。ドームに猫砂が多すぎると、最初の数回の処理サイクルで猫砂がゴミ受けトレーに出されます。排泄物は各サイクル中に取り除かれるので、ドーム内に余分に猫砂を入れておく必要はありません。

どのくらいの頻度で、猫砂を追加する必要がありますか？

リッターロボットは、特許取得済みのふるい分けシステムが排泄物を取り除くだけなので、非常に効率的に猫砂を使用します。1匹の猫では週に約1回、複数の猫では約2回、ゴミ受けトレーを空にするたびに、適量ライン(ドームの黒いゴムライナー上)に対して猫砂の量を確認することをお勧めします。猫砂がドームからあふれないように注意してください。

ドームの頻繁な回転や猫砂の移動でほこりが問題になりませんか？

いいえ、ドームは非常にゆっくりと回転するため、ほこりはごくわずかです。

どのくらいの頻度でゴミ受けトレーを空にする必要がありますか？

これは猫の数と大きさにより変わってきます。平均的な大きさの猫2匹の場合、週2回が一般的です。1匹の猫の場合、通常1週間に1回で十分です。

どのくらいの頻度でドームの内部をきれいにする必要がありますか？

これはお客様の個人的な好みや猫の行動により変わってきます。ドームの内部は1～3ヶ月ごとにきれいにすることをおすすめします。25ページの「使用方法とお手入れ」を参照してください。

リッターロボットの外側はどうやってきれいにするのですか？

リッターロボットの外側のクリーニングは簡単です。ドームとトレーを取り外してスポンジで拭くか、外に出してガーデンホースなどで丸洗いでできます。他のすべての部分も表面をきれいに拭き取ることができますが、水はかけないでください。

注意:リッターロボットのベースとカバーには電気部品が付いているため、水をかけないでください。25ページの使用方法とお手入れを参照してください。

返金保証と製品保証

試用期間

お客様や猫ちゃんにどうしてもご満足いただけない場合は、お近くの正規販売店が指定した返品期間内にリッターロボットをご返却ください。ご購入価格の全額を返金させていただきます。返品時の送料はお客様の負担となりますのでご注意ください。

リッターロボットの正規販売店以外のお店等からリッターロボットをご購入いただいた場合は、その返品ポリシーに従って販売店との調整を行う必要があります。

運搬中の損傷を避けるため、リッターロボットは掃除し、十分梱包(元の梱包材が最適です)を行ってください。返品説明書には、リッターロボットのパッケージ図が示されています。

完全保証

お客様のリッターロボットは、購入場所にかかわらず、出荷日から完全保証が適用されます。保証はすべての部品と手間に適用されます。送料と保証期間は地域によって異なります。

カスタマーサービスへのお問い合わせ

お客様のリッターロボットが当社の正規販売店を通じて購入された場合は、保証修理、返品、払い戻しを決定するために、購入した販売店に連絡する必要があります。当社の国際正規販売店ネットワークは、50カ国以上でリッターロボットのサービスを提供しています。

詳細は、www.litter-robot.com/international をご覧ください。

LR3-8078-0c

litter·robot®

litter-robot.com

アメリカ製
グローバルマテリアル

